

公共事業環境配慮書(案)

農政部 農地整備課

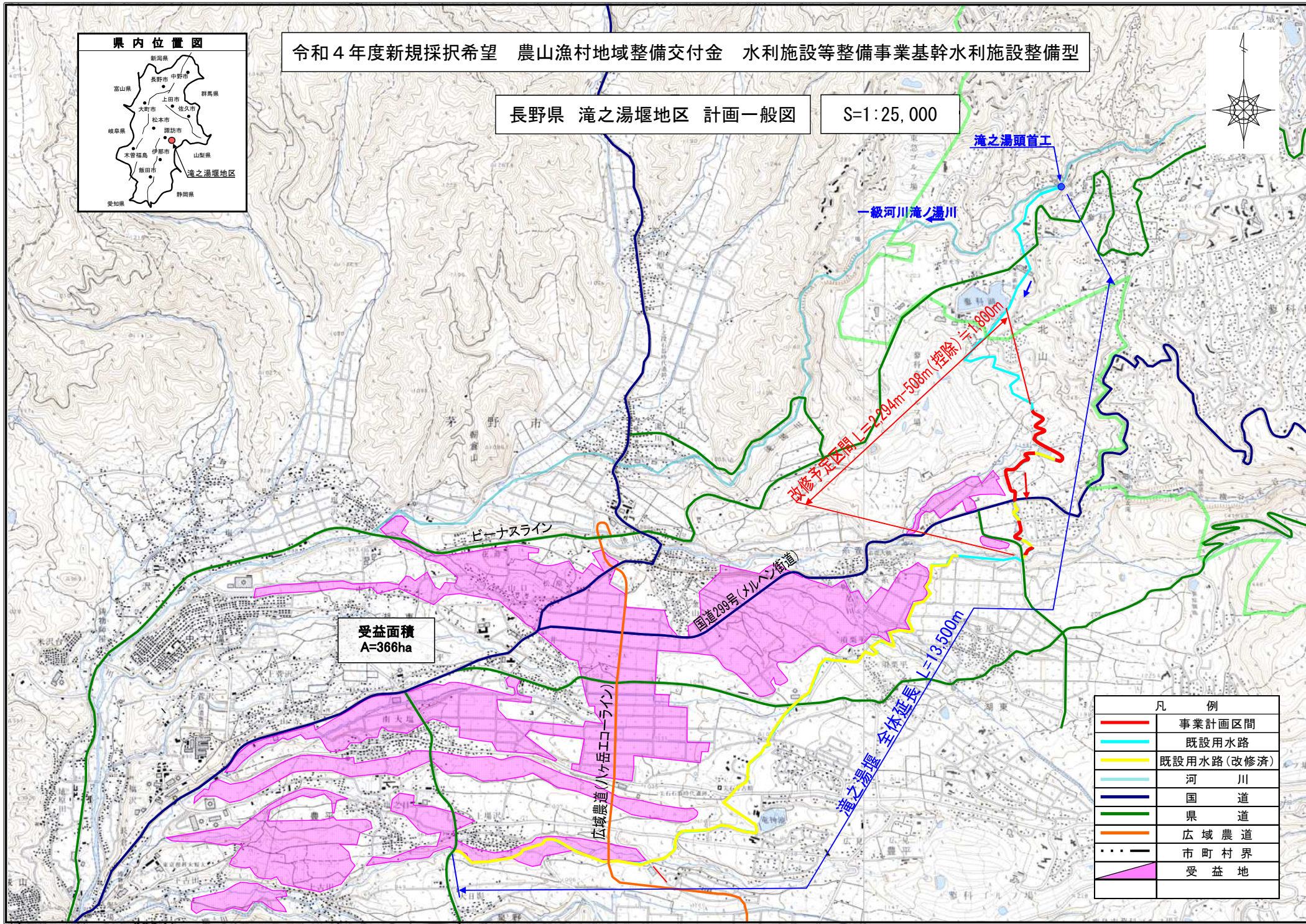
事業名称		
事業名	県営かんがい排水事業	
整理番号	R4-9	
事業の種類	かんがい排水施設の新設又は更新	
市町村名	茅野市	
箇所名	滝之湯堰地区	
事業年度	令和4年度～令和8年度	
事業概要		
目的	漏水や護岸(土羽)浸食が生じている農業用排水路を改修し、農業用水の安定供給と溢水等による家屋等への被害防止を図る。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	用水路工 L=1,800m	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	なし	
その他	なし	
社会的要素		
	留意すべき地域の概況	
交通の現況	事業区域の中央付近に国道299号が位置する	
土地利用の現況	山地・丘陵である	
生活関連施設の現況	別荘が点在している	
その他	特になし	
自然的環境要素		
	環境配慮の方針	
大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある
	【大気汚染の防止】	
	・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	
	【騒音、振動の防止】	
・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできる限り避ける。		
・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。		
【悪臭の防止】		
・想定される影響はない。		
水環境	留意すべき地域の概況	農業用排水路が存在する
	【水質汚濁の防止】	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
	【水循環の保全】	
・想定される影響はない。		
地形・地質	留意すべき地域の概況	丘陵である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変をできる限り避ける。	
	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	
	・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。	
・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。		

野生動植物	留意すべき地域の概況	自然性が高い植生の地域である 猛禽類の生息する地域である
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変をできる限り避ける。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避措置を基本とするが、それができない場合は、重要な植物を個体群の維持が可能な生育適地へ移植・播種する又は生育地を創出し移植・播種する。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・猛禽類の生息・繁殖が確認された場合、工事期間の調整などの配慮に努める。	
景観	留意すべき地域の概況	森林景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
	・樹木の伐採はできる限り避ける又は植樹等による緑化に努める。	
	【地域独自の生物多様性の保全】	
	・工事予定地の表土を用いた覆土による植生回復や地域由来の在来植物を用いた緑化に努める。	
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【自然とのふれあい空間の創出】	
	・想定される影響はない。	
	【文化財等への配慮】	
	・想定される影響はない。	
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	【資源の有効利用】	
廃棄物・建設残土	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
	・アイドルリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
	【エネルギーの有効利用】	
	・想定される影響はない。	
	【日照阻害への配慮】	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
	【光害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
	【日照阻害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
	【電波障害への配慮】	
日照阻害・電波障害・光害	【光害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
	【電波障害への配慮】	

令和4年度新規採択希望 農山漁村地域整備交付金 水利施設等整備事業基幹水利施設整備型

長野県 滝之湯堰地区 計画一般図

S=1:25,000



凡 例	
—	事業計画区間
—	既設用水路
—	既設用水路(改修済)
—	河 川
—	国 道
—	県 道
—	広域農道
⋯	市町村界
■	受益地